諸島部

- 東南アジア
  - 風土
    - 豊かな資源 — 香辛料 — はるかから外の世界とつながる — 多様な人々と文化を受け入れる
    - 大陸部 — インドシナ半島 — 現在のベトナム、ラオス、カンボジア、タイ、ミャンマー
      - デルタ
      - 様々な言語を話す人が入り組んで分布
    - 気候 — 熱帯雨林気候 — 高温、年中雨量多
      - サバナ気候 — 雨季と乾季
    - 諸島部
      - マレー半島 ～ 現在のインドネシア、フィリピンを含む島々
        - マレー系の諸言語を話す民族
        - 河川と海 — 交通路
  - 半島部
    - 前2千年紀末
      - 青銅器製作 @ベトナム、タイ東北部
    - 前1千年紀
      - ドンソン文化 @ベトナム北部
        - 中国の影響下
        - 独特の青銅器、鉄製農具
        - 銅鼓 → 文化、交易のたがり
      - → 前2世紀末 前漢の武帝が南越を滅ぼす → 10世紀末 北宋に独立を認めさせる
        - 1世紀半ば 徵姉妹の反乱を後漢が鎮圧
          - 以後、10世紀末までベトナム北部は中国の支配下
        - 11世紀初頭 大越国建国 by 李氏
          - 李朝 ～ 陳朝
            - 字喃(チュノム) … ベトナム語を書くための漢字を利用した文字 ～ 黎朝
            - 広域支配とならず
            - チャンパー勢力と対立
    - 紀元前後
      - インド、中国との交流盛んに
    - 1世紀末
      - 扶南 @メコン川下流域 (カンボジア～南ベトナム)
        - 港：オケオ → ローマ貨幣、インドの神像出土
        - 港市国家：有力な港市が周辺の港市を支配することで成立
          - 交易ルート、商品が変わると支配領域も変わる。
        - → 7世紀 カンボジアに併合されて滅ぼされる
    - 2世紀末
      - チャンパー @ベトナム中部 by チャム人 (2～17c)
        - → 4世紀ごろ 扶南に
          - インド化 … ヒンドゥー教、大乗仏教、王権概念、インド神話、サンスクリット語、インド式建築様式
          - → 7世紀 林邑 → 8～9世紀 環王 → 9～15世紀 占城
            - 長期に勢力維持
            - 海上交易 インド洋～南シナ海
            - インドの影響を強く受けた寺院群
            - 黎朝が征服・併合
            - 今日の南北に長いベトナムの領土となる。
          - → 17世紀末以降 阮朝の属国に。
    - 6世紀
      - カンボジア @メコン川中流域 by クメール人
        - 扶南を滅ぼす
        - → 9世紀 アンコールに都 → 12世紀～ ヒンドゥー教、仏教の影響を受けながら アンコールワット(寺院)を建設 アンコールトム(王城)
          - → 15世紀半ば アユタヤ朝に滅ぼされる
      - タイ
        - 7～11世紀頃 ドヴァーラヴァティー王国 by モン人 @チャオプラヤ川下流
          - 上座部仏教が盛ん
          - → 13世紀半ば スコータイ朝 @タイ北部 上座部仏教を国教に
      - ミャンマー
        - 1～9世紀 ビルマ系ピュー人の国 @イラワディ川下流域
          - → 11世紀 パガン朝 ビルマ最初の統一王朝
            - スリランカと交流 → 上座部仏教が広まる
            - 国教に
          - → 13世紀 元の攻撃で衰退

@ジャワ島中部

- 8～9世紀 シャイレンドラ朝 … 大乗仏教 仏教国 ボロブドゥール建造 → その後ヒンドゥー教強まる
- 732～1222 マタラム朝 … ヒンドゥー国

@スマトラ島

- 7世紀半ば シュリーヴィジャヤ王国 @スマトラ島パレンバン
  - 海上交易
  - 唐に朝貢使節派遣
  - 義浄がインド往復の途中滞在『南海寄帰内法伝』大乗仏教が盛んだったというう記録